



今年度のESDの重点目標（取組）

地域のモノ・ヒト・コトと関わりながら探究する生活科・総合的な学習の時間を目指して

【令和5年度 ESD 実践報告】

2年生 「あそよな まちのすてき発見！」



◆なんといっても直接体験！地域の方とかわる

子供たちが興味のある公共施設や事業所、神社仏閣に実際に出かけました。実際に見たり触れたり聞いたりすると、普段生活しているだけでは気付けなかった感動がいっぱいありました。地域の方が日々どんな工夫をして働いているのかや、地域の方の思いに気付いたりして、あそよながすてきなところだと感じられました。

◆お世話になった地域の方を招待し、交流会

郵便局の方のすてきなところを子供たちが発表しました。招待された事業所の方は、それを聞いて「新しい発見があった」と感想をもらうなど、地域の方同士の関わりをもつことができました。最後は全員で花道を作ってお見送りし、感謝の気持ちを伝えました。今後もずっと住んでいく自分たちの地域。あそよなってすてきだなと、地域に愛着がわきました。



4年生 「よなこめほっこり隊」

◆学校の中にいるだけじゃ味わえない地域のおよさ

「地域」をテーマに学習をしている4年生は、まずあそよなを見直すことから始めました。日頃お世話になっている団体の名前が上がリ、実際に出かけました。どの団体からも温かい歓迎を受け、そんな地域に何ができるだろうと考えるきっかけになりました。

◆何度もやりとり！幼・保との交流会

探究でとても大切なのは地域のヒト・モノ・コトと何度も関わることです。幼稚園・保育園との交流会では、交流計画書を園の方に何度も見てアドバイスをいただき、当日を迎えました。子どもたちの園児時代を知る先生が成長した姿に感動する場面もありました。次の交流会に向け、今回の学びを生かし、よりよいものにしようと試行錯誤しています。



SDGS 18
チーム「あそよな」
みんながデザイナー！



8年生 「DIG HUG」

◆私たちが、地域の力になれるかな…

実際に災害が起こった時、地域みんなで手を取り合い、支え合って乗り切っていかなければなりません。そんな時に、8年生の自分たちに何ができるのだろうか。地域の一員としての自覚をもつきっかけになりました。自分たちが考えたことを地域の方に伝えることで、実際に地域の方のニーズに合っているのかを知っていきます。ここも何度も関わることでよりお互いの思いが共有でき、より深いものになっていきます。

◆多国籍な地域特性に合うように…いざ、実践

地域の方を招いて DIGHUG を行います。地区ごとにグループとなり、災害時に危険度が高い場所などについて話し合います。あそよなの多国籍な地域特性にどう対応していくのかが問われます。

